

令和3年5月

第2回横須賀ごみ処理施設運営協議会会議次第

1 議事

報告事項1 横須賀ごみ処理施設の運転状況等の報告について(P.1~5)

- (1) 施設の運転状況
- (2) 煙突排出ガスに係る測定結果
- (3) 排水に係る測定結果
- (4) 悪臭・騒音・振動に係る測定結果
- (5) 施設の安定的な運転に係る測定結果

報告事項2 横須賀ごみ処理施設における工事等の予定について(P.6~8)

- (1) 工事等の概要及び位置図

報告事項3 神奈川県環境影響評価条例に基づく横須賀ごみ処理施設の事後調査について(P.9~11)

報告事項4 大気環境の常時監視測定局について(P.12)

配布資料

資料1 報告資料

- 資料2 資料編
- 1 「操業状況」関係資料
 - 2 「排出ガス測定結果」関係資料
 - 3 「排水測定結果」関係資料
 - 4 「悪臭・騒音・振動測定結果」関係資料
 - 5 「焼却灰の放射能濃度測定結果」関係資料
 - 6 「空間放射線量率測定結果」関係資料
 - 7 「収集されたごみの分別状況」関係資料
 - 8 「雨水測定結果」関係資料

報告事項1

(1) 施設の運転状況(令和2年10月～令和3年3月)

① 焼却施設の運転状況

1) 焼せるごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 28,021 台
- ・総搬入量 : 45,044.12 t

2) 焼却量 : 46,882.68 t

3) 発電電力量 : 22,081.88 MWh

4) 売電電力量 : 16,868.78 MWh

② 不燃ごみ等選別施設の運転状況

1) 不燃ごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 2,100 台
- ・総搬入量 : 713.51 t

2) 粗大ごみの搬入状況

- ・総搬入台数 : 38,825 台
- ・総搬入量 : 2,525.34 t

3) 破碎処理量 : 2,404.21 t

4) 搬出量 : 223.67 t (三浦市最終処分場へ)

* その他詳細については、資料編 P.1、2 参照

(2) 煙突排出ガスに係る測定結果(令和2年10月～令和3年3月)

① 煙突排出ガスの定期測定に係る測定結果(計量証明書)

- 1) ばいじん・塩化水素・硫黄酸化物・窒素酸化物濃度については、10回測定を行い、全ての項目について自主基準値以下でした。

全水銀濃度については、1・3号炉は各2回、2号炉は1回(1回目は6月実施)測定を行い、法基準値以下でした。

その他の測定項目については、いずれも法基準値以下または基準値がない項目についても、低濃度で推移していました。

(P.3 図1・2・3・4及び資料編 P.3 参照)

- 2) ダイオキシン類濃度については、各炉2回測定を行い、いずれも自主基準値以下でした。(資料編 P.4 参照)

② 煙突排出ガスの連続測定に係る測定結果(1時間平均値)

- 1) ばいじん・塩化水素・硫黄酸化物濃度については、自主基準値以下でした。

(P.4 図5・6・7及び資料編 P.5 参照)

2) 窒素酸化物濃度については、12月17日以外、自主基準値以下でした。

(P.4 図8、P5 及び資料編 P.5 参照)

3) 一酸化炭素濃度については、基準値以下でした。

(P.4 図9 及び資料編 P.5 参照)

(3) 排水に係る測定結果

すべての項目について、規制基準に適合していました。

(資料編 P.6~9 参照)

(4) 悪臭・騒音・振動に係る測定結果

悪臭・騒音・振動測定について、規制基準に適合していました。

騒音測定については、1か所基準値を上回っている場所がありますが、距離減衰(測定場所から敷地境界線までの距離 約80m)により、基準値を下回っていることを確認しました。

(資料編 P.10、11 参照)

(5) 施設の安定的な運転に係る測定結果

① 焼却灰の放射能濃度

主灰、飛灰(ばいじん)共に、100ベクレル/kg以下の濃度で推移していました。(資料編 P.12 参照)

② 空間放射線量率

エコミルでごみを搬入する前に測定した結果と比較しても、同程度の濃度で推移していました。(資料編 P.13 参照)

③ 焼せるごみの組成分析

6回測定する予定のところ、コロナ禍のため1回も測定できませんでした。

④ 収集されたごみの分別状況

コロナ禍のため、収集車の展開検査はできない状況ですが、一般持ち込み者の分別状況検査を行い、計16台指導しました。(資料編 P14 参照)

⑤ 雨水の測定結果

1) 1回測定を実施しました。(資料編 P15 参照)

2) ダイオキシン類濃度測定を1回実施しました。(資料編 P15 参照)

煙突排出ガスの定期測定に係る測定結果(計量証明書)

※ 委託した分析業者によって、定期的に測定された結果

図1

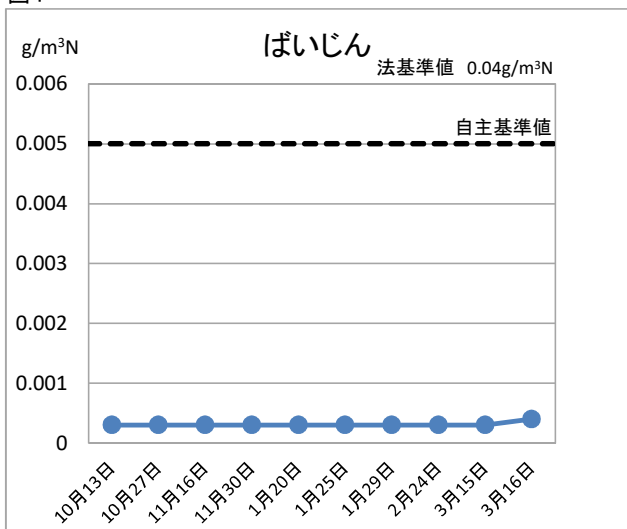


図2

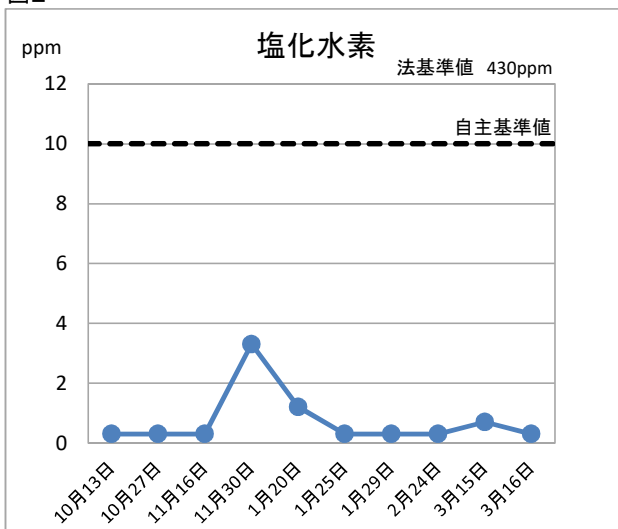


図3

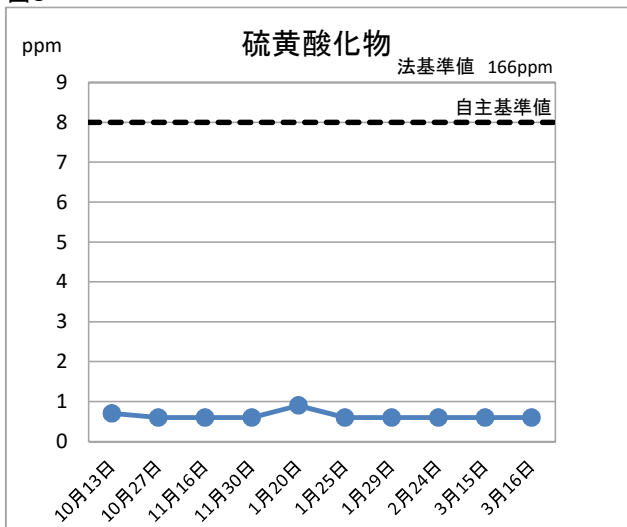
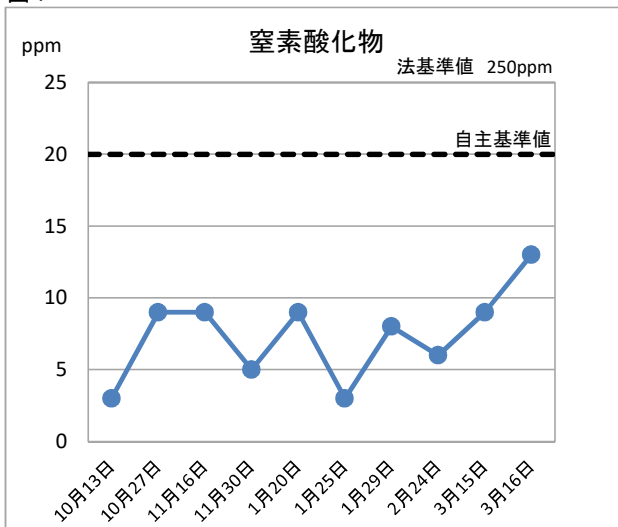


図4



煙突排出ガスの連続測定に係る測定結果(1時間平均値)

※ 施設に設置してある自動分析計によって、常時記録している1時間平均値のうち最大値

図5

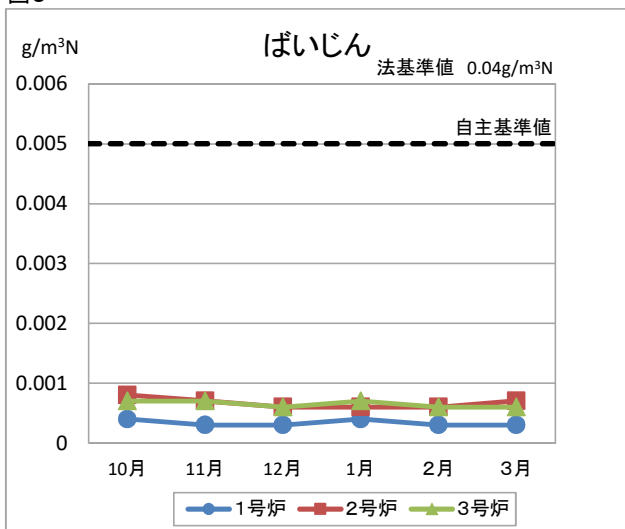


図6

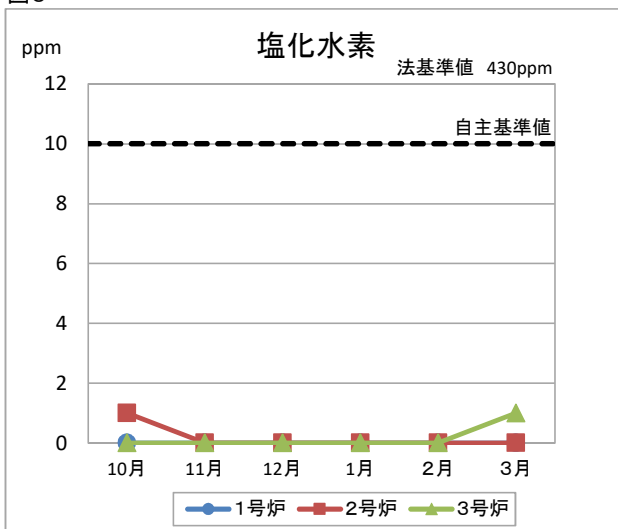


図7

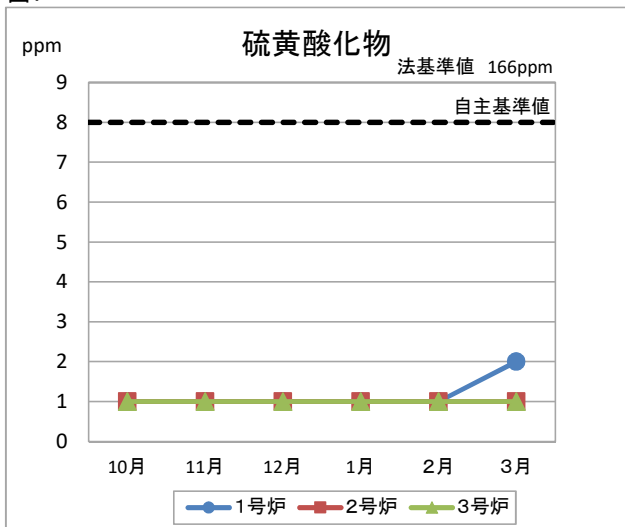


図8

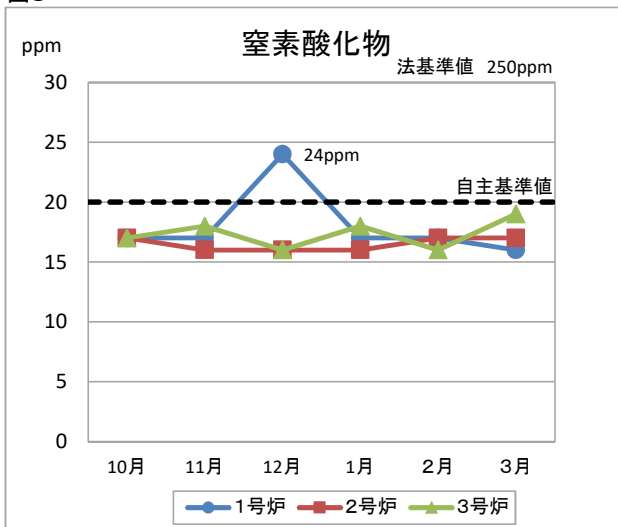
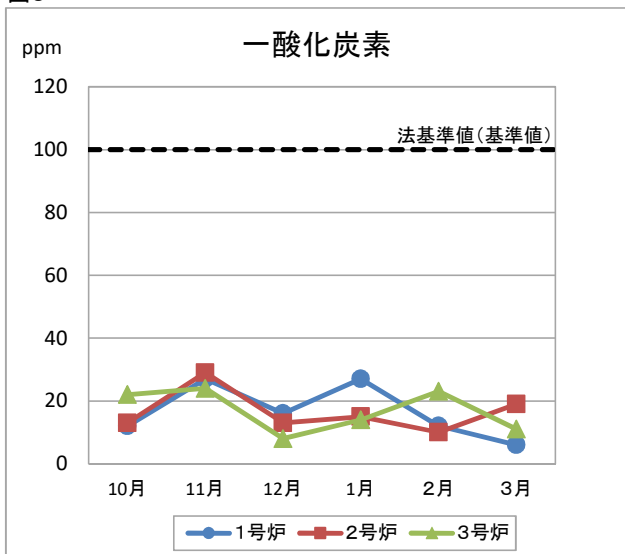


図9



基準値を超えた際の状況、措置及び調査結果

項目	測定種類	基準値	測定値	原因	措置及び調査結果
令和2年12月17日 15時	煙突から排出される 排ガス中の窒素酸化物濃度 連続測定項目（1時間平均値）	20ppm以下	24ppm （1号炉）	短時間における 高濃度が発生 （アンモニア供給設備）	・アンモニア水最大注入量にて対応（16時に回復 11ppm）

報告事項 2 横須賀ごみ処理施設における工事等の予定について

1 広域処理センター防風対策工事

時期：令和3年9月～12月頃実施予定

内容：当初の想定よりも施設周辺の風が強く、一般持込等で訪れた市民が車両から降りたときに風に煽られ危険であるため、防風対策として防風林の設置を行う。

2 広域処理センター焼却施設防鳥網設置小破修繕

時期：令和3年7月～8月頃実施予定

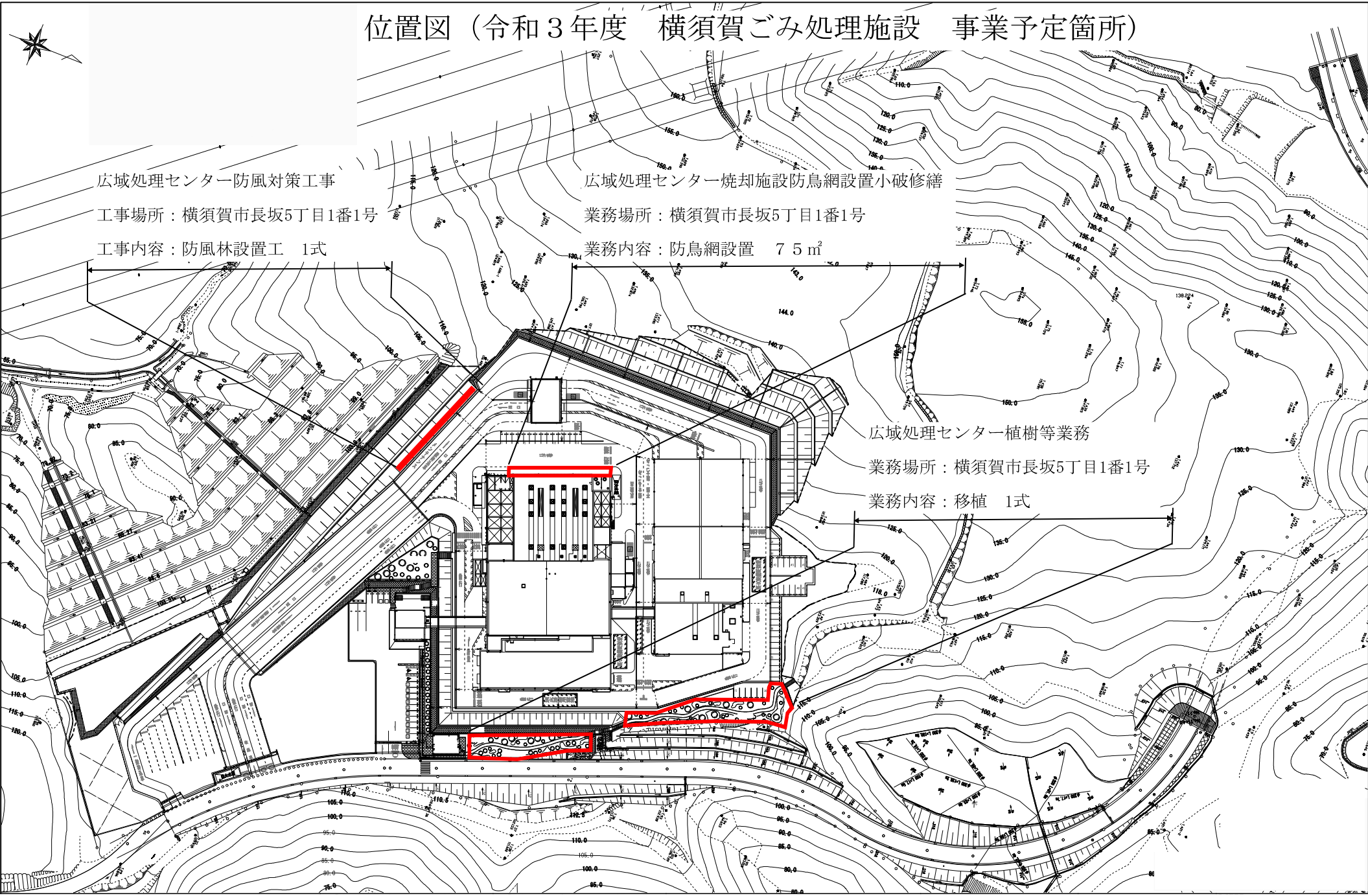
内容：焼却施設西側の吸気チャンバー軒裏に、野鳥の侵入を防ぐため、防炎ネット（5cmます目）を約75㎡設置する。

3 広域処理センター植樹等業務

時期：令和4年1月～3月頃実施予定

内容：令和元年度に植樹した苗木を移植するなど手入れを行う。

位置図 (令和3年度 横須賀ごみ処理施設 事業予定箇所)



広域処理センター防風対策工事

工事場所：横須賀市長坂5丁目1番1号

工事内容：防風林設置工 1式

広域処理センター焼却施設防鳥網設置小破修繕

業務場所：横須賀市長坂5丁目1番1号

業務内容：防鳥網設置 75㎡

広域処理センター植樹等業務

業務場所：横須賀市長坂5丁目1番1号

業務内容：移植 1式

工事等予定箇所写真

広域処理センター防風対策工事	備考
	赤枠が予定箇所
広域処理センター焼却施設防鳥網設置小破修繕	備考
	赤枠が予定箇所
広域処理センター植樹等业务	備考
	赤枠が予定箇所

報告事項3 神奈川県環境影響評価条例に基づく横須賀ごみ処理施設の事後調査について

1 横須賀ごみ処理施設の環境アセスメント手続きについて

(1) 対象事業の種類：廃棄物処理施設の建設、発生土処分場の建設、宅地の造成

(2) 手続きの主な経過

平成 23 年 10 月 6 日：神奈川県知事に環境影響予測評価実施計画書を提出

平成 25 年 11 月 5 日：神奈川県知事に環境影響予測評価書案を提出

平成 26 年 7 月 14 日：神奈川県知事に環境影響予測評価書を提出

平成 26 年 9 月 26 日：神奈川県知事に着手届を提出（発生土処分場の建設）

平成 26 年 10 月 10 日：神奈川県知事に着手届を提出（廃棄物処理施設の建設、宅地の造成）

・・・・・・工事の実施、試運転の実施、工事中の環境影響調査の実施・・・・・・

令和 2 年 3 月 30 日：工事のしゅん工により、神奈川県知事に完了届を提出

2 環境アセスメントにおける事後調査について

(1) 工事中の環境影響調査

平成 26 年 9 月から令和元年 10 月まで、工事中の周辺環境に及ぼす影響を確認するため、下表のとおり調査を行いました。

評価項目	調査事項	調査地点等	調査時点	調査実施時期	調査結果
①植物	環境保全対策 (移植)	移植元及び 移植先	移植元の造成工事着 手前	平成 26 年 9 月、11 月	植物の重要種であるツルギキョウ が工事区域から消失するため、専門 家の意見を参考に、4 地点に 13 個 体の移植を行った。
	定着状況	移植先	ツルギキョウの開 花・結実期（秋季） 平成 30 年度以降は、 出芽期の春季にも調 査	平成 27 年 9 月 平成 28 年 10 月 平成 29 年 9 月 平成 30 年 5 月、9 月 令和元年 5 月、10 月	移植を行った 13 個体のうち、 H27 は 7 個体確認 H28 は 3 個体確認 H29 は 2 個体確認 H30 は春 1 個体、秋は確認個体な し R 1 は、春・秋とも確認個体なし
②大気汚染	工事中の資材運搬 車両等の走行に伴 う大気汚染評価物 質濃度として、 浮遊粒子状物質、 窒素酸化物（二酸 化窒素、一酸化窒 素）	資材運搬車両 等の通過する 沿道の道路境 界 5 地点（芦名、 武、山科台、平 作、大矢部）	発生土搬出のピーク となる時期の 1 年間 のうち 1 季 1 週間	平成 27 年 5 月の 1 週間 (芦名、武、山科台)	予測評価書の評価目標とした環境 基準を大きく下回り、「周辺の生活 環境に著しい影響を及ぼさないこ と」が達成された。
			建設資材等運搬のピ ークとなる 1 年間の うち 1 季 1 週間	平成 30 年 11 月の 1 週間 (平作、大矢部)	同上
③騒音	工事中の資材運搬 車両等の走行に伴 う道路交通騒音レ ベル及び自動車交 通量	資材運搬車両 等の通過する 沿道の道路境 界 5 地点（芦名、 武、山科台、平 作、大矢部）	発生土搬出のピーク となる時期の 1 日 のうち資材運搬車両 等の走行時間帯	平成 27 年 6 月の 1 日間 (芦名、武、山科台)	予測評価書の評価目標とした環境 基準を下回り、「周辺の生活環境に 著しい影響を及ぼさないこと」が達 成された。
			建設資材等運搬のピ ークとなる時期の 1 日のうち資材運搬車 両等の走行時間帯	平成 30 年 11 月の 1 日間 (平作、大矢部)	予測評価書の評価目標とした「周辺 の生活環境に著しい影響を及ぼさ ないこと」が達成された。

④振動	工事中の資材運搬車両等の走行に伴う道路交通振動レベル	資材運搬車両等の通過する沿道の道路境界	発生土搬出のピークとなる時期の1日のうち資材運搬車両等の走行時間帯	平成27年6月の1日間 (芦名、武、山科台)	予測評価書の評価目標とした環境基準を大きく下回り、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」が達成された。
		5地点(芦名、武、山科台、平作、大矢部)	建設資材等運搬のピークとなる時期の1日のうち資材運搬車両等の走行時間帯	平成30年11月の1日間 (平作、大矢部)	同上

備考：これらの調査結果は、各年度ごとに詳細な事後調査報告書として取りまとめ、神奈川県知事あて提出するとともに、神奈川県は縦覧（公表）を実施しています。

(2) 供用開始後（工事完了後を含む）の環境影響調査

令和2年度は、廃棄物処理施設供用開始後の調査として、周辺環境に及ぼす影響を確認するため、下表のとおり調査を行いました。

評価項目	調査事項	調査地点等	調査時点	調査実施時期	調査結果
①植物	定着状況	移植先	ツルギキョウの萌芽期及び開花・結実期	令和2年5月、10月	春・秋とも確認個体なし ツルギキョウのモニタリング調査の総括は別に記載
②大気汚染	関係車両の走行に伴う大気汚染評価物質濃度として、浮遊粒子状物質、窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素)	関係車両の通過する沿道の道路境界5地点(芦名、武、山科台、平作、大矢部)	施設の稼働が定常の状態となる時期の1年間のうち1季1週間	令和2年9月の1週間	予測評価書の評価目標とした環境基準を下回り、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」が達成された。
③騒音	関係車両の走行に伴う道路交通騒音レベル及び自動車交通量	関係車両の通過する沿道の道路境界5地点(芦名、武、山科台、平作、大矢部)	施設の稼働が定常の状態となる時期の1日のうち関係車両の走行時間帯	令和2年9月の1日間	平作は、評価の指標となる環境基準を上回っていたが、同地点は事前調査でも上回っており、他の4地点は環境基準を下回っていた。 以上により、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。
④振動	関係車両の走行に伴う道路交通振動レベル	関係車両の通過する沿道の道路境界5地点(芦名、武、山科台、平作、大矢部)	施設の稼働が定常の状態となる時期の1日のうち関係車両の走行時間帯	令和2年9月の1日間	すべての地点で評価の指標を下回り、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。
⑤大気汚染	廃棄物処理施設の稼働に伴う煙突排ガスによる大気汚染評価物質濃度として 二酸化硫黄 浮遊粒子状物質 窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素) ダイオキシン類 塩化水素	予測範囲内の最大着地濃度出現地付近 2地点(荻野小学校、池上市民プラザ)	施設の稼働が定常の状態となる時期の1年間のうち4季各1週間	令和2年6月 令和2年9月 令和2年11月 令和3年2月の各1週間	大気汚染評価物質の濃度は、いずれも環境基準や環境目標値、予測結果を下回り、評価の指標を満足していた。 以上の結果から、評価書における「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。
⑥騒音 低周波音	廃棄物処理施設の稼働に伴う工場騒音レベル及び低周波音の音圧レベル	敷地境界2地点 周辺住宅地1地点	施設の稼働が定常の状態となる時期の1日間	令和2年11月 令和2年12月	敷地境界、周辺住宅地とも評価の指標を下回り、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。

⑦振 動	廃棄物処理施設の稼働に伴う工場振動レベル	敷地境界2地点 周辺住宅地1地点	施設の稼働が定常の状態となる時期の1日間	令和2年6月	予測結果と同様又は下回り、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。
⑧悪 臭	廃棄物処理施設の稼働に伴う悪臭の影響	敷地境界2地点 周辺住宅地1地点	施設の稼働が定常の状態となる時期で影響が最大となる時期の施設稼働時1日間、休炉時1日間	運転時 令和2年7月 休炉時 令和2年12月	敷地境界、周辺住宅地とも評価の指標を満足しており、「周辺の生活環境に著しい影響を及ぼさない」という評価目標は達成された。
⑨景 観	廃棄物処理施設の使用に伴う景観への影響	施設周辺	供用開始後	令和2年5月	身近な視点の平作地区からの景観は、スカイラインを横切る廃棄物処理施設及び煙突が出現しているが、予測結果と同様であり、既存樹木の遮蔽効果や建物外観の意匠及び色彩が周辺への景観的調和に配慮されている。新ハイキングコース上の景観については、廃棄物処理施設の外観デザインが茶系統の色彩を基調としているなど周辺の自然環境との調和が図られている。以上により、「主要な眺望地点及び身近な視点からの景観に著しい影響を及ぼさないこと」とした評価目標は達成された。

備考：これらの調査結果は、詳細な事後調査報告書として取りまとめ、令和3年3月30日に神奈川県知事あてに提出するとともに、神奈川県は縦覧（公表）を実施しています。

○ ツルギキョウのモニタリング調査の総括について

ツルギキョウは、神奈川県レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に指定されており、造成工事の区域内に自生していたものの消失を防ぐため、近隣区域に移植を行った。

移植場所の選定にあたっては、専門家の意見に従い、ツルギキョウの生育条件に可能な限り合致した場所を選定したが、最終的には壊死してしまっした。

移植後6年間にわたるモニタリング調査の経過は、第1回調査では結実がみられたものの、その後確認個体数は減少していった。移植後4年間は生育個体を確認できたが、それ以降は地上部が確認されなくなり、結果的に地下の根茎を含めて枯死したものと判断された。枯死した要因としては、①元々の移植個体の活力によるもの、②移植後の移植先の環境変化の可能性が考えられる。

移植に関しては残念ながら成功しなかったが、周辺地域での調査や情報収集により、阿部倉のハイキングコースの法面や長坂の沢山池周辺で、ツルギキョウが自生していることを確認している。

これらの自生地は、ツルギキョウの生育に好ましい環境が維持されていると考えられ、神奈川県指導もあり、地元の方々や環境保護活動の参加者に、生育環境の維持に協力を求めたいと考えている。

報告事項 4 大気環境の常時監視測定局について

平成 30 年度に横須賀ごみ処理施設建設対策協議会よりご要望いただきました、大気環境の常時監視測定局につきまして、令和 3 年 1 月 4 日より池上コミュニティセンター（池上市民プラザ）で測定を開始しました。

なお、測定結果につきましては、神奈川県ホームページ（大気汚染常時監視測定結果）及び環境省のホームページ（環境省大気汚染物質広域監視システム（そらまめ君））におきまして公開されています。

神奈川県大気汚染常時監視測定結果のホームページより

大気環境測定結果について

神奈川県内の大気測定局で常時測定されている測定結果をお知らせしています。

■ 時報（速報値）

1時間毎の測定値を過去7日分ご覧いただけます。

■ 測定年月日を選択してください

2021 年 05 月 21 日 10 時

■ 設置主体

横須賀市

設置主体	測定局	区分	二酸化硫黄	一酸化窒素	二酸化窒素	窒素酸化物	一酸化炭素	オキシダント	メタン	非メタン炭化水素	全炭化水素	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向	風速	温度	湿度
			ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppmC	ppmC	ppmC	mg/m ³	μg/m ³	方位	m/s	℃	%
横須賀市	横須賀市追浜行政センター	一般局	0.000	0.001	0.000	0.001	----	0.013	1.86	0.03	1.89	0.031	10	南南西	7.0	----	----
横須賀市	横須賀市久里浜行政センター	一般局	0.000	0.002	0.002	0.004	----	0.011	1.85	0.05	1.90	0.031	10	南西	4.0	----	----
横須賀市	横須賀市西行政センター	一般局	----	0.000	0.000	0.000	----	0.011	1.83	0.02	1.85	0.036	7	西北西	3.2	----	----
横須賀市	横須賀市池上コミュニティセンター	一般局	0.000	0.000	0.000	0.000	----	0.009	1.87	0.04	1.91	0.015	5	南	4.3	----	----
横須賀市	横須賀市小川町交差点	自排局	----	****	****	****	****	----	----	----	----	0.021	6	----	----	----	----

◎ 第2回横須賀ごみ処理施設運営協議会 資料編

令和3年5月

- 「操業状況」関係資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P1～P2
- 「排出ガス測定結果」関係資料・・・・・・・・ P3～P5
- 「排水測定結果」関係資料・・・・・・・・ P6～P9
- 「悪臭・騒音・振動測定結果」関係資料・・・・・・・・ P10～P11
- 「焼却灰の放射能濃度測定結果」関係資料・・・・・・・・ P12
- 「空間放射線量率測定結果」関係資料・・・・・・・・ P13
- 「収集されたごみの分別状況」関係資料・・・・・・・・ P14
- 「雨水測定結果」関係資料・・・・・・・・ P15

1 操業状況(焼却施設)について

項 目		令和2年			令和3年			計	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ごみ搬入量	搬入日数(日)	22	21	22	20	20	23	128	
	総量	搬入台数(台/月)	4,859	4,704	5,050	4,402	4,120	4,886	28,021
		搬入量(t/月)	7,851.87	7,514.47	8,176.94	7,095.57	6,464.95	7,940.32	45,044.12
	平均	搬入台数(台/日)	221	224	230	220	206	212	
		搬入量(t/日)	357	358	372	355	323	345	
焼却量	運転日数	1号炉運転日数(日)	31	30	18	31	28	4	142
		2号炉運転日数(日)	22	30	18	31	28	31	160
		3号炉運転日数(日)	23	30	18	31	4	29	135
	総量	1号炉焼却量(t/月)	3,618.80	2,845.78	1,729.56	3,403.48	3,178.28	405.46	15,181.36
		2号炉焼却量(t/月)	2,493.04	3,221.45	1,708.60	3,290.35	3,090.42	3,403.67	17,207.53
		3号炉焼却量(t/月)	2,638.93	3,236.50	1,715.23	3,342.78	395.09	3,165.26	14,493.79
		全炉焼却量(t/月)	8,750.77	9,303.73	5,153.39	10,036.61	6,663.79	6,974.39	46,882.68
	平均	1号炉焼却量(t/日)	117	95	96	110	114	101	
		2号炉焼却量(t/日)	113	107	95	106	110	110	
		3号炉焼却量(t/日)	115	108	95	108	99	109	
		全炉焼却量(t/日)	282	310	258	324	238	225	
	電力量	タービン発電機運転日数(日)	31	30	18	31	28	31	169
		総量	発電電力量(MWh/月)	3,942.04	4,382.64	2,483.17	4,764.16	3,165.81	3,344.06
使用電力量(MWh/月)			1,000.29	1,010.66	753.17	1,059.18	758.75	813.29	5,395.34
受電電力量(MWh/月)			0.02	0	182.22	0	0	0	182.24
売電電力量(MWh/月)			2,941.77	3,371.98	1,912.22	3,704.98	2,407.06	2,530.77	16,868.78
平均		発電電力量(MWh/日)	127	146	138	154	113	108	131
		使用電力量(MWh/日)	32	34	24	34	27	26	30
		受電電力量(MWh/日)	0	0	12	0	0	0	2
	売電電力量(MWh/日)	95	112	106	120	86	82	100	

2 操業状況(不燃ごみ等選別施設)について

項 目		令和2年			令和3年			計		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月			
ごみ搬入量	収集量	搬入日数(日)	22	21	22	20	20	23	128	
		不燃 総量	搬入台数(台/月)	272	266	278	259	264	260	1,599
			搬入量(t/月)	104.69	98.57	117.50	86.35	92.39	86.58	586.08
		粗大 総量	搬入台数(台/月)	317	317	358	219	249	307	1,767
			搬入量(t/月)	104.98	105.51	122.55	69.51	79.33	101.09	582.97
		平均	搬入台数(台/日)	27	28	29	24	26	25	
	搬入量(t/日)		10	10	11	8	9	8		
	直接持込量	不燃 総量	搬入台数(台/月)	96	93	95	83	62	72	501
			搬入量(t/月)	21.21	23.87	23.62	15.13	23.74	19.86	127.43
		粗大 総量	搬入台数(台/月)	5,836	6,429	7,188	5,575	5,815	6,215	37,058
			搬入量(t/月)	301.26	339.62	354.96	295.04	310.64	340.85	1,942.37
		平均	搬入台数(台/日)	270	311	331	283	294	273	
			搬入量(t/日)	15	17	17	16	17	16	
	破碎 処理量	運転日数(日)	22	20	20	16	17	22	117	
総量		破碎量(t/月)	487.37	428.12	448.75	328.43	338.57	372.97	2,404.21	
平均		破碎量(t/日)	22	21	22	21	20	17		
搬出量	破碎 ごみ	不燃性残さ(t/月)	38.87	15.97	23.85	59.44	42.99	42.55	223.67	
		破碎鉄(t/月)	75.11	61.56	76.75	53.78	56.44	55.42	379.06	
		破碎アルミ(t/月)	5.97	6.25	9.70	0.00	4.38	3.33	29.63	
	搬入 ごみ	金属粗大(t/月)	9.65	9.51	17.22	10.58	13.41	13.58	73.95	
		破碎不適物(t/月)	4.26	2.02	5.62	1.12	3.37	2.52	18.91	
		ライター・スプレー缶(t/月)	1.93	0.00	0.00	0.00	1.27	0.00	3.20	
		Sマットレス(t/月)	5.65	6.48	7.90	4.03	6.46	8.05	38.57	

令和2年～令和3年 排出ガス測定結果（計量証明書）

No	項目	単位	基準値	10月13日	10月27日	11月16日	11月30日	1月20日	1月25日	1月29日	2月24日	3月15日	3月16日
				1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	3号炉	2号炉	1号炉	1号炉	2号炉	3号炉
1	ばいじん	g/m ³ N	0.005以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003	0.0004
2	塩化水素	ppm	10以下	0.3	0.3	0.3未満	3.3	1.2	0.3	0.3	0.3	0.7	0.3
3	硫黄酸化物	ppm	8以下	0.7未満	0.6未満	0.6未満	0.6未満	0.9	0.6未満	0.6未満	0.6未満	0.6未満	0.6未満
4	窒素酸化物	ppm	20以下	3	9	9	5	9	3	8	6	9	13
5	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.005以下										
6	（ばいじん中の）カドミウム	mg/m ³ N	0.5以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満					
7	塩素	ppm	1以下	0.1未満	0.3未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満					
8	ふっ素	mg/m ³ N	2.5以下	0.8未満	0.8未満	0.8未満	0.8未満	0.8未満					
9	（ばいじん中の）鉛	mg/m ³ N	10以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満					
10	アンモニア	ppm	50以下	11	3.2	3.7	3.7	1.6未満					
11	シアン	ppm	10以下	0.7未満	0.7未満	0.6未満	0.6未満	0.6未満					
12	硫化水素	ppm	10以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満					
13	ベンゼン	ppm	10以下	1未満	1未満			1未満					
14	トルエン	ppm	100以下	10未満	10未満			10未満					
15	キシレン	ppm	150以下	15未満	15未満			15未満					
16	トリクロロエチレン	ppm	50以下	5未満	5未満			5未満					
17	テトラクロロエチレン	ppm	50以下	5未満	5未満			5未満					
18	ジクロロメタン	ppm	50以下	5未満	5未満			5未満					
19	ホルムアルデヒド	ppm	5以下	0.5未満	0.5未満			0.5未満					
20	フェノール	ppm	5以下	0.5未満	0.5未満			0.5未満					
21	全水銀	μg/m ³ N	50以下	0.4	2.6	2.6	3.3	6.0					
22	全炭化水素	ppmC	-	2	1未満			1					
23	塩化ビニルモノマー	ppm	-	0.0005未満	0.0005未満			0.0005未満					
24	PCB	mg/m ³ N	-	0.002未満	0.002未満			0.002未満					
25	フタル酸エステル	mg/m ³ N	-	3未満	3未満			3未満					
26	（ばいじん中の）亜鉛	mg/m ³ N	-	0.005未満	0.005未満			0.007					
27	（ばいじん中の）マンガン	mg/m ³ N	-	0.005	0.005未満			0.005未満					
28	一酸化炭素	ppm	100以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	二酸化炭素	%	-	12.4	11.1	12.2	12.4	12.9	12.7	11.9	11.9	11.8	12.0
30	酸素	%	-	7.3	7.1	7.0	6.2	7.1	7.1	6.5	6.8	7.0	6.7

令和2年～令和3年 排出ガス測定結果（連続測定）

		基準値	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉
ばいじん g/m ³ N	最大	0.005以下	0.0004	0.0008	0.0007	0.0003	0.0007	0.0007	0.0003	0.0006	0.0006	0.0004	0.0006	0.0007	0.0003	0.0006	0.0006	0.0003	0.0007	0.0006
	平均	-	0.0002	0.0005	0.0005	0.0002	0.0005	0.0005	0.0002	0.0005	0.0004	0.0002	0.0005	0.0005	0.0002	0.0005	0.0005	0.0002	0.0005	0.0005
	最小	-	0.0001	0.0004	0	0.0001	0.0003	0.0003	0	0	0	0.0001	0.0004	0.0003	0.0001	0.0003	0.0004	0.0001	0.0004	0
塩化水素 ppm	最大	10以下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	平均	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最小	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
硫黄酸化物 ppm	最大	8以下	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	平均	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最小	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窒素酸化物 ppm	最大	20以下	17	17	17	17	16	18	24	16	16	17	16	18	17	17	16	16	17	19
	平均	-	14	14	14	9	9	13	12	11	13	13	12	12	13	12	8	13	13	14
	最小	-	3	0	0	3	0	1	0	0	0	5	5	3	3	0	0	9	1	0
一酸化炭素 ppm	最大	100以下	12	13	22	27	29	24	16	13	8	27	15	14	12	10	23	6	19	11
	平均	-	3	3	2	3	3	3	4	3	3	4	3	3	3	3	5	3	3	2
	最小	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0

令和2年～令和3年 煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度

項目	自主基準値 (ng-TEQ/m ³ _N)	排ガスを採取した 年月日	測定結果の得られた 年月日	測定の結果 (ng-TEQ/m ³ _N)
1号炉	0.005	R2.11.11	R2.12.24	0.0011
		R3.2.9	R3.3.9	0.0000062
2号炉		R2.11.20	R2.12.24	0.000013
		R3.2.10	R3.3.9	0.000022
3号炉		R2.11.24	R2.12.24	0.0000096
		R3.3.9	R3.3.26	0.000030

令和2年～令和3年 排水測定結果（放流水）

(1/4)

	測定項目	基準値	定量下限値	10月1日	10月7日	10月13日	10月20日	10月27日	11月4日	11月11日	11月16日	11月24日	12月3日	12月10日	12月15日	12月21日	12月28日
1	温度 °C	45°C未満	—	26.0	25.3	27.2	19.8	25.0	24.1	22.5	23.5	25.0	22.0	19.2	18.2	16.2	19.5
2	水素イオン濃度(pH)	5を超え9未満	—	7.4	7.4	7.5	7.6	7.6	7.5	7.6	7.5	7.6	7.5	8.0	8.0	8.2	7.7
3	生物化学的酸素要求量(BOD) mg/L	600 未満	1	2.0	3.0	2.0	2.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
4	浮遊物質質量(SS) mg/L	600 未満	1	1.0	1.0	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.0	N.D.	N.D.	1.0	N.D.	N.D.	2.0	N.D.
5	ノルマルヘキサン抽出物質 mg/L	鉱油	5 以下	0.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
6		動植物油	10 以下	0.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
7	窒素含有量 mg/L	120 未満	0.2	19.0	17.0	17.0	17.0	18.0	18.0	21.0	21.0	25.0	22.0	2.1	2.7	17.0	22.0
8	磷含有量 mg/L	16 未満	0.01	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
9	沃素消費量 mg/L	220 未満	5	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
10	カドミウム及びその化合物 mg/L	0.03 以下	0.001	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
11	シアン化合物 mg/L	1 以下	0.01	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
12	有機燐化合物 mg/L	0.2 以下	0.05	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
13	鉛及びその化合物 mg/L	0.1 以下	0.02	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
14	六価クロム化合物 mg/L	0.5 以下	0.04	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
15	砒素及びその化合物 mg/L	0.1 以下	0.005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 mg/L	0.005 以下	0.0005	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
17	アルキル水銀 mg/L	検出されないこと	0.0005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
18	ポリ塩化ビフェニル(PCB) mg/L	0.003 以下	0.0005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
19	トリクロロエチレン mg/L	0.1 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
20	テトラクロロエチレン mg/L	0.1 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
21	ジクロロメタン mg/L	0.2 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.
22	四塩化炭素 mg/L	0.02 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.

	測定項目	放流基準	定量下限値	10月1日	10月7日	10月13日	10月20日	10月27日	11月4日	11月11日	11月16日	11月24日	12月3日	12月10日	12月15日	12月21日	12月28日
23	1,2-ジクロロエタン mg/L	0.04	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
24	1,1-ジクロロエチレン mg/L	1	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
25	シス1,2-ジクロロエチレン mg/L	0.4	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
26	1,1,1-トリクロロエタン mg/L	3	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
27	1,1,2-トリクロロエタン mg/L	0.06	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
28	1,3-ジクロロプロペン mg/L	0.02	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
29	チウラム mg/L	0.06	0.006	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
30	シマジン mg/L	0.03	0.003	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
31	チオベンカルブ mg/L	0.2	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
32	ベンゼン mg/L	0.1	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
33	セレン及びその化合物 mg/L	0.1	0.001	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
34	ほう素及びその化合物 mg/L	10	-	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	2.1	1.9	2.1	1.9	0.24	0.21	1.7	2.5
35	ふっ素及びその化合物 mg/L	8	-	0.9	1.3	2.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	0.8	N.D.	N.D.	2.1	0.7
36	1,4-ジオキサン mg/L	0.5	0.05	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
37	フェノール類 mg/L	0.5	0.02	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
38	銅及びその化合物 mg/L	3	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
39	亜鉛及びその化合物 mg/L	2	-	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
40	鉄及びその化合物(溶解性) mg/L	10	0.05	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
41	マンガン及びその化合物(溶解性) mg/L	1	0.02	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
42	クロム及びその化合物 mg/L	2	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.
43	ダイオキシン類 pg-TEQ/L	10	-									0.0042					
44	ニッケル及びその化合物 mg/L	1	0.01	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.

令和2年～令和3年 排水測定結果（放流水）

(3/4)

測定項目	基準値	定量下限値	1月7日	1月12日	1月20日	1月29日	2月3日	2月9日	2月16日	2月24日	3月3日	3月10日	3月16日	3月24日	3月31日
1 温度 °C	45°C未満	—	18.0	16.8	19.0	18.3	19.0	18.0	19.0	17.8	19.0	18.8	20.2	20.8	22.0
2 水素イオン濃度(pH)	5を超え9未満	—	7.7	7.5	7.3	7.4	7.6	7.8	7.5	7.5	7.6	7.4	7.7	7.6	7.6
3 生物化学的酸素要求量(BOD) mg/L	600 未満	1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	3	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	2	3
4 浮遊物質(SS) mg/L	600 未満	1	1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	2	2	3	N.D.	1	2	1
5 ノルマルヘキサン抽出物質 mg/L	鉱油	5 以下	0.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
	動植物油	10 以下	0.5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
7 窒素含有量 mg/L	120 未満	0.2	20.0	20.0	21.0	18.0	19.0	15.0	13.0	16.0	16.0	15.0	18.0	16.0	17.0
8 磷含有量 mg/L	16 未満	0.01	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
9 沃素消費量 mg/L	220 未満	5	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
10 カドミウム及びその化合物 mg/L	0.03 以下	0.001	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
11 シアン化合物 mg/L	1 以下	0.01	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
12 有機磷化合物 mg/L	0.2 以下	0.05	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
13 鉛及びその化合物 mg/L	0.1 以下	0.02	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
14 六価クロム化合物 mg/L	0.5 以下	0.04	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
15 砒素及びその化合物 mg/L	0.1 以下	0.005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
16 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 mg/L	0.005 以下	0.0005	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
17 アルキル水銀 mg/L	検出されないこと	0.0005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
18 ポリ塩化ビフェニル(PCB) mg/L	0.003 以下	0.0005	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
19 トリクロロエチレン mg/L	0.1 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
20 テトラクロロエチレン mg/L	0.1 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
21 ジクロロメタン mg/L	0.2 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—
22 四塩化炭素 mg/L	0.02 以下	0.002	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—	N.D.	—

	測定項目	放流基準	定量下限値	1月7日	1月12日	1月20日	1月29日	2月3日	2月9日	2月16日	2月24日	3月3日	3月10日	3月16日	3月24日	3月31日
23	1,2-ジクロロエタン mg/L	0.04	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
24	1,1-ジクロロエチレン mg/L	1	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
25	シス1,2-ジクロロエチレン mg/L	0.4	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
26	1,1,1-トリクロロエタン mg/L	3	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
27	1,1,2-トリクロロエタン mg/L	0.06	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
28	1,3-ジクロロプロペン mg/L	0.02	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
29	チウラム mg/L	0.06	0.006	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
30	シマジン mg/L	0.03	0.003	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
31	チオベンカルブ mg/L	0.2	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
32	ベンゼン mg/L	0.1	0.002	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
33	セレン及びその化合物 mg/L	0.1	0.001	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
34	ほう素及びその化合物 mg/L	10	-	1.5	1.7	1.7	1.4	1.6	1.4	1.8	1.4	1.5	1.3	1.4	1.6	1.3
35	ふっ素及びその化合物 mg/L	8	-	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	1.0	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	1.2	1.2
36	1,4-ジオキサン mg/L	0.5	0.05	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
37	フェノール類 mg/L	0.5	0.02	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
38	銅及びその化合物 mg/L	3	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	0.44	-	N.D.	-
39	亜鉛及びその化合物 mg/L	2	-	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
40	鉄及びその化合物(溶解性) mg/L	10	0.05	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
41	マンガン及びその化合物(溶解性) mg/L	1	0.02	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
42	クロム及びその化合物 mg/L	2	0.02	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-
43	ダイオキシン類 pg-TEQ/L	10	-													
44	ニッケル及びその化合物 mg/L	1	0.01	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-	N.D.	-

令和2年度 悪臭・騒音・振動測定結果

○悪臭測定結果

測定場所	規制基準値	12月21日測定
①遊歩道上り口付近	臭気指数 15以下	10未満
②雨水調整池付近		10未満

○騒音測定結果

日時・区分 規制基準値	12月17日～12月18日測定			
	昼間 (8～18時)	夕 (18～23時)	夜間 (23～6時)	朝 (6～8時)
測定場所	55dB以下	50dB以下	45dB以下	50dB以下
①遊歩道上り口付近	54	47	45	49
②雨水調整池付近	41	33	31	36
③計量棟付近	59 (*30)	45	44	46

(*30) : 敷地境界線上での騒音レベル (距離減衰結果 測定位置から敷地境界までの距離 約80m)

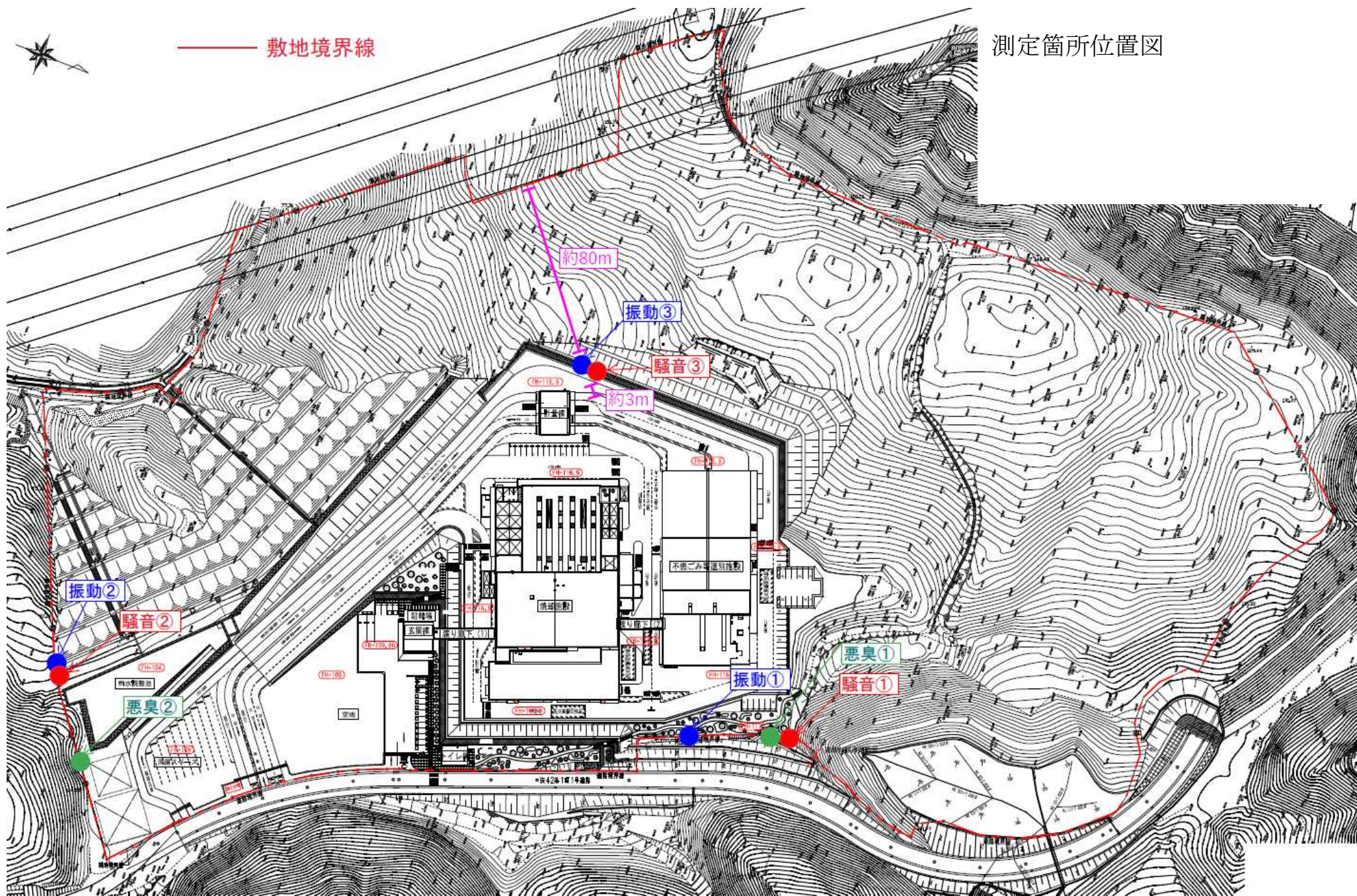
○振動測定結果

日時・区分 規制基準値	12月17日～12月18日測定	
	昼間 (8～19時)	夜間 (19～8時)
測定場所	65dB以下	55dB以下
①遊歩道上り口付近	30	30未満
②雨水調整池付近	30未満	30未満
③計量棟付近	30未満	30未満



敷地境界線

測定箇所位置図



焼却灰の放射能濃度測定結果

採取場所 横須賀ごみ処理施設（長坂5丁目1番1号）

測定機関 横須賀市上下水道局

測定機器 セイコー・イージーアンドジー(株) Ge半導体検出器

(単位：ベクレル/kg)

採取日	主灰				飛灰（ばいじん）			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	セシウム合計	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	セシウム合計
3月15日	不検出 (<6.2)	不検出 (<4.0)	不検出 (<5.1)	不検出	不検出 (<6.9)	不検出 (<6.5)	31	31
2月22日	不検出 (<6.2)	不検出 (<3.7)	5.5	5.5	不検出 (<7.2)	不検出 (<7.8)	46	46
令和3年 1月25日	不検出 (<5.3)	不検出 (<5.1)	6.7	6.7	不検出 (<6.8)	不検出 (<5.7)	52	52
12月21日	不検出 (<6.3)	不検出 (<4.9)	8.7	8.7	不検出 (<7.8)	不検出 (<6.3)	58	58
11月24日	不検出 (<12)	不検出 (<5.3)	22	22	不検出 (<13)	不検出 (<7.1)	73	73
10月7日	不検出 (<6.8)	不検出 (<6.3)	13	13	不検出 (<8.7)	不検出 (<4.9)	82	82
令和1年 11月11日	不検出 (<6.0)	不検出 (<5.3)	24	24	不検出 (<7.5)	不検出 (<7.3)	98	98

○主灰とは、ごみを燃やした際の燃えがらのことで焼却炉から排出される灰をいいます。

○飛灰（ばいじん）とは、排ガス中に含まれるダストをろ過式集塵器などで捕集したものをいいます。

○「不検出」とは、検出下限値未満を表します。また、（ ）内は検出下限値を表します。

○令和1年11月11日は、参考に「南処理工場」の測定結果を表します。

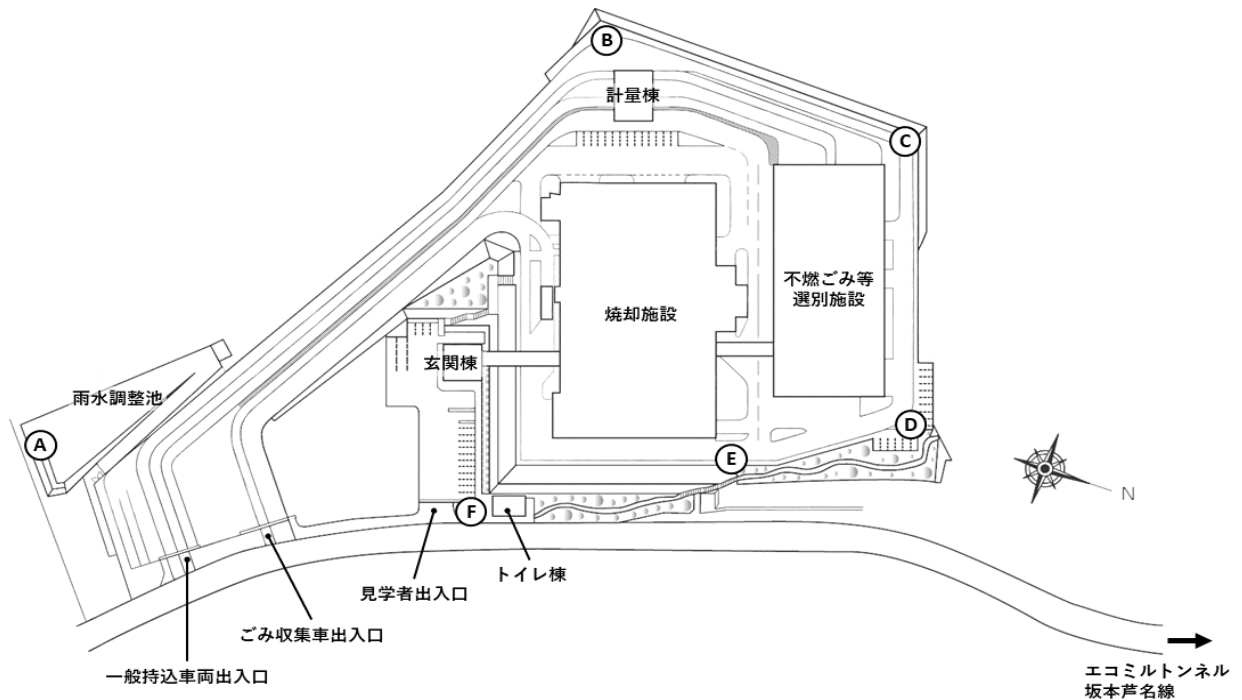
空間放射線量率測定結果

測定場所 横須賀ごみ処理施設（長坂5丁目1番1号）周辺6か所
 測定方法 市職員が、10秒間隔で5回データを読み取り、その平均値を測定結果としている
 測定機器 アロカ NaIシンチレーションサーベイメータ TCS-172B
 (測定レンジ0.3 時定数10秒)

(単位：マイクロシーベルト/時)

測定日	測定場所 (いずれも地表から1 m)					
	A	B	C	D	E	F
	雨水調整池付近	計量棟付近	法面下付近	遊歩道上り口付近	遊歩道途中	トイレ棟付近
3月17日	0.03	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05
2月22日	0.03	0.05	0.05	0.03	0.04	0.04
令和3年1月21日	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04
12月16日	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05
11月12日	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05
10月12日	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05
令和1年10月18日	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05

○令和1年10月18日は、参考に「エコミル」にごみを搬入する前のバックグラウンド濃度を表します。



収集（搬入）されたごみの分別状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査台数	120	206	249	149	192	189
違反台数	3	5	1	2	2	3
違反内容	個人搬入1件、り災ごみ2件ついて、容器包装プラスチックなどの混載やごみの搬入基準（規定長さ）に違反していたので全量持ち帰らせた。	同一のり災ごみに5件ついて、ごみの搬入基準（規定長さ・太さなど）に違反していたので一部及び全量持ち帰らせた。	り災ごみについて、ごみの搬入基準（規定長さ）に違反していたので全量持ち帰らせた。	個人搬入の2件ついて、ごみの搬入基準（規定長さ）違反していたので一部及び全量持ち帰らせた。	個人搬入の2件ついて、ごみの搬入基準（事業系ごみ混載）に違反していたので一部持ち帰らせた。	個人搬入の1件および減免車輛について、ごみの搬入基準（規定長さ）に違反していたので一部持ち帰らせた。

令和3年 雨水測定結果

	測定項目		定量下限値	2月3日
1	温度	℃	—	9.8
2	水素イオン濃度 (pH)		—	7.3
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	1	4
4	浮遊物質 (SS)	mg/L	1	2
5	ノルマルヘキサン抽出物質 mg/L	鉱油	1	1未満
6		動植物油	1	1未満
7	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	—	0.017

